

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																											
大阪ウェディングアンドブライダル専門学校		平成24年3月22日	徳 幸道		〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-8-32 (電話) 06-7656-0267																											
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																											
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日	屋間 一彦		〒113-0033 東京都文京区本郷3-23-16 (電話) 03-3814-9641																											
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																										
文化・教養	文化教養専門課程	ブライダルヘアメイクアンドドレス科			平成25年文部科学省 告示第2号	-																										
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、ヘアメイクまたはドレス業界に従事しようとする者に必要な知識、技能を教授しヘアメイク・ドレススタイリストとして活躍し、明日のブライダル業界を担う人材を養成することを目的とする。																															
認定年月日	平成31年3月5日																															
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																									
2年	昼間	62	35	44	6	0	10																									
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数		総教員数																									
296人		199人	0人	11人	14人		25人																									
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～翌年3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業科目の成績評価は、試験、レポート、履修状況等を総合的に勘案して行い、各科目ごとの基準についてはシラバスに示す。																											
長期休み	■夏季: 7月下旬～8月下旬までの約1か月間 ■冬季: 12月下旬～1月上旬までの約2週間 ■春季: 3月上旬～4月上旬までの約1か月間			卒業・進級条件	本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。																											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 クラス担任制をとり、本人及び保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行なう。また、カウンセリングルームを紹介するなど、担任のみならず学校に関わる教職員でサポートしている。			課外活動	■課外活動の種類 海外研修、ボランティア活動、学校行事実行委員会等 ■サークル活動: 無																											
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) ブライダルヘアメイクアーティスト他 ■就職指導内容 就職実習対策の授業内で履歴書や面接指導を行う。またクラス担任と地域別の就職担当が連携し学生をサポートしている。 ■卒業生数 90 人 ■就職希望者数 68 人 ■就職者数 67 人 ■就職率 99 % ■卒業者に占める就職者の割合 74 % ■その他 ・進学者数: 10人 ・その他: 13人(正社員登用を目標としたアルバイト契約) (令和 元 年度卒業者に関する 令和2年5月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブライダルメイクアップ検定</td> <td>③</td> <td>90人</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>認定ドレスコーディネーター</td> <td>③</td> <td>90人</td> <td>89人</td> </tr> <tr> <td>ブライダルコーディネイト技能検定3級</td> <td>①</td> <td>88人</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>JNAジェルネイル技能検定試験初級</td> <td>③</td> <td>89人</td> <td>83人</td> </tr> <tr> <td>ブライダルフラワーアレンジメント</td> <td>③</td> <td>90人</td> <td>90人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ブライダルメイクアップ検定	③	90人	82人	認定ドレスコーディネーター	③	90人	89人	ブライダルコーディネイト技能検定3級	①	88人	73人	JNAジェルネイル技能検定試験初級	③	89人	83人	ブライダルフラワーアレンジメント	③	90人	90人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																													
ブライダルメイクアップ検定	③	90人	82人																													
認定ドレスコーディネーター	③	90人	89人																													
ブライダルコーディネイト技能検定3級	①	88人	73人																													
JNAジェルネイル技能検定試験初級	③	89人	83人																													
ブライダルフラワーアレンジメント	③	90人	90人																													
中途退学の現状	■中途退学者 13名 平成31年4月1日時点において、在学者186名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者173名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 目的喪失・進路変更・精神的疾患・経済的理由他 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による定期的な面談の実施、スクールカウンセラーとの面談、保護者との連携			■中退率 7%																												
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生入学制度等 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																															
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																															
当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/osaka-bridal/																															

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行ない、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。

委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や 授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

またより正確にブライダル業界における動向や求められる人材要件を把握するため、生徒の就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を高め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。実習先である結婚式場などに対し、アンケート等を実施することにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのことよって得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、ブライダル分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

教育課程編成委員会構成員は大阪ウェディングアンドブライダル専門学校と企業関係者等の役職者から成るものとし、審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意見を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成を協力して行うものと位置付けている。

【教育課程編成の基本方針決め・前年の問題点抽出】

企業関係者等の外部委員より、専攻分野に関した動向や新たに必要となる人材スキル等の業界の実情をヒアリングし、委員会で協議をし、次年度の教育課程編成の基本方針を決める。

さらに、前年度の問題点をピックアップし、企業関係者等の外部委員からの見識のある改善意見も集約する。



【教育課程編成の科目詳細決め】

委員会構成員の中の大阪ウェディングアンドブライダル専門学校教員によって、各科目の詳細を決定し、また、集約した改善意見も教育課程に反映させ、次年度の教育課程の仮案を完成させる。



【WB委員会(各ブライダル専門学校代表教員による分野会議)にて教育課程編成の決定】

委員会構成員の中の大阪ウェディングアンドブライダル専門学校教員による教育課程の仮案に基づいて、再度、WB委員会で協議をし、次年度の教育課程を決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
林 一馬	全米ブライダルコンサルタント協会	令和1年4月1日～令和4年3月31日(3年)	①
下仲 翔介	アールベルアンジェ奈良	令和1年4月1日～令和4年3月31日(3年)	③
田中 和彦	JOB SHOP 株式会社	令和1年4月1日～令和4年3月31日(3年)	③
桐山 幸男	コンラッド大阪	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
樫山 賢一	アニヴェルセル株式会社 アニヴェルセル神戸	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
土持 尚樹	株式会社ホテルマネージメントジャパン	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
楠本 圭子	株式会社オータニコポーレーション	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
鄭 由佳	サロンドナチュール	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
陶山 毅	大阪ウェディングアンドブライダル専門学校 副校長		
九谷 愛	大阪ウェディングアンドブライダル専門学校 教務主任		
上田 有輝	大阪ウェディングアンドブライダル専門学校 教務主任		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(年間の開催数及び開催時期)
年2回 (7月 2月)

(開催日時(実績))
令和元年度
第1回 令和元年7月17日 16:00～17:30
第2回 令和2年2月7日 17:30～18:30

令和2年度
第1回 令和2年8月7日 16:30～18:00
第2回 令和3年2月 実施予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。
①ヘアメイクの仕事は1日に何件も仕事を持つことが多いので、1件でも時間が押すことで、その後の挙式などにも影響がでてくる。そういった実際の現場の話を職業ごとに話すと、生徒からしても時間管理の大切さなどが納得しやすいのではないか。
⇒1日の時間の使い方や、自己本位な行動が周りに負の影響を与えることになることを指導していきたい。
②ウェディングプランナー科には心理学があるが、ブライダルヘアメイクアンドドレス科でも学べると良いと感じる。挙式当日に新婦さんに最初に接し、最も長く接するウェディングのプロであること。アテンドすることも多いため、人の心理に対して知識があると良いのではないかと。今後のカリキュラム改訂の際に反映できないか検討したい。
③技術職でも独立・起業するときにはHP作成や、WEBの知識が必要なので、学べるカリキュラムがあれば良いと感じる。
⇒ヘアメイクアンドドレス科に関しては、ドレススタイリストコースのみビジネスメール演習の授業で基本的な動作方法などを学べるが、WEB関連知識を学ぶ内容も検討してみたい。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
基本方針として、「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎新婦だけではなく、その家族、その人生も幸せにできるNo.1のプランナーを育成する」という本校人材育成方針のもとブライダル業界等との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実践していくこと。
ブライダル業界においては、知識と接客力が重要であるという不変のものであり、双方を兼ね備えることで長く業界で活躍することができ、業界の発展にも繋がっていく。そこから本校教育理念である「技能(知識・技術・理論)」と「心(人間教育・対人基礎力)」の調和をもとに授業計画から本校教員も参加し、「技術・理論の習得レベル」及び「マナー」「コミュニケーション」など現場に即した内容を検討、そして、定期的に授業の振り返りを行い、継続的かつ改善工夫を実施している。
企業等と連携することで、より早く現場の変化や課題に対しての対応及び教育への反映ができ、本校そして業界が求める「人財の育成」に貢献できると考える。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
授業科目「花嫁着付Ⅰ-A、B」「花嫁着付Ⅱ-A、B」の授業を1年次、2年次それぞれ年間をと通じて実施。ブライダル業界において企業の方より、実践力を想定し、日本古来より婚礼に欠かせない「着物」に関する知識・技術を習得。そして授業を通してブライダル業(サービス業)に欠かせない挨拶・マナー・言葉づかいなどの礼節並びに振る舞い・行動など所作を身につける。
定期的に授業内での内容・実技試験などを含め、振り返りを実施し、企業様からの評価を成績評価に反映させる。また、定期的に授業シラバスや1年間の流れ・生徒の様子を共有し、改善点等協議している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
花嫁着付Ⅰ-A	日本における美容文化である着付けの技術を学ぶことで卒業後の仕事の幅が広がり、活躍の場も増える。授業では技術はもとより礼節や所作などを現場の方から毎週継続して学ぶことで、接客スキルを向上させる。日本の美容文化への意識及び技術習得の必要性を認識し、向上心を養う。	株式会社K・Wプロジェクト
花嫁着付Ⅰ-B	日本における美容文化である着付けの技術を学ぶことで卒業後の仕事の幅が広がり、活躍の場も増える。授業では技術はもとより礼節や所作などを現場の方から毎週継続して学ぶことで、接客スキルを向上させる。日本の美容文化への意識及び技術習得の必要性を認識し、向上心を養う。	株式会社K・Wプロジェクト
花嫁着付Ⅱ-A	日本における美容文化である着付けの技術を学ぶことで卒業後の仕事の幅が広がり、活躍の場も増える。授業では技術はもとより礼節や所作などを現場の方から毎週継続して学ぶことで、接客スキルを向上させる。日本の美容文化への意識及び技術習得の必要性を認識し、向上心を養う。	株式会社K・Wプロジェクト
花嫁着付Ⅱ-B	日本における美容文化である着付けの技術を学ぶことで卒業後の仕事の幅が広がり、活躍の場も増える。授業では技術はもとより礼節や所作などを現場の方から毎週継続して学ぶことで、接客スキルを向上させる。日本の美容文化への意識及び技術習得の必要性を認識し、向上心を養う。	株式会社K・Wプロジェクト

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日のプライダル業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

- ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
- ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「今後のウェディング業界について」(連携企業等:クラリスウェディングプランナー研究所 所長 伊藤淳様)

期間:令和元年8月26日(月) 対象:全教員50名

内容:ウェディング業界の動向・ウェディング業界に求められる人材について・現状と課題について学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「思うは招く」(連携企業等:植松電機 代表取締役社長 植松勉様)

期間:令和2年4月2日(木) 対象:全教職員40名

内容:自信のつけ方・あきらめない考えの修得方法などを植松努氏よりご講演いただく予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止となったため、同様の研修内容の動画を教員が視聴し、レポート提出を行った。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「新型コロナウイルス禍でのプライダル業界の現状と今後の予測について」(連携企業等:フリープランナー 和田靖子様)

期間:令和2年8月26日(木) 対象:担任13名

内容:今どきの若者が育ってきた背景と教員としてのかかわり方を学ぶ予定。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「今の時代の新人・若手のポイント」のセミナー」(連携企業等:リクルートマネジメントソリューションズ 金田裕子様)

期間:令和2年8月26日(木) 対象:全教職員40名

内容:今どきの若者が育ってきた背景と教員としてのかかわり方を学ぶ予定。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。

学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。

①通信制高校出身者の傾向として、周囲とのコミュニケーションが求められるチームビルディングが苦手なので、授業や学校行事でグループワークをする際、小集団から大集団へと段階的に移行すると良いと感じる。

⇒小集団を好む生徒を集めた集会を実施したい

②人によって技術の取得の速度が全く異なることを念頭に置いて、授業を展開してもらいたい。

⇒一人一人に合わせた授業展開を行いたい

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
楠本 圭子	株式会社オータニコーポレーション	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	企業等委員
田中 和彦	JOB SHOP 株式会社	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	企業等委員
鄭 由佳	サロンドナチュール	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	企業等委員
福井 万季子	ベルクラシック空港 ウェディング	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	卒業生
垣木 美祐	株式会社オータニコーポレーション	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	卒業生
齊藤 貴雄	飛鳥未来高等学校 大阪キャンパス	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	教育機関

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他() ()

URL: https://www.sanko.ac.jp/osaka-bridal/pdf/kankeisyahyouka_osaka.pdf

公表時期: 令和2年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2) 各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要件、目指すべき人材像、取得可能資格、就職実績
(3) 教職員	教員数、組織、専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6) 学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL:https://www.sanko.ac.jp/osaka-bridal/pdf/school_information.pdf

授業科目等の概要

(文化教養専門課程ブライダルヘアメイクアンドメイク科) 令和2年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			ブライダル知識Ⅰ	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「アシスタントブライダルコーディネーター検定」取得を目指す。	1通	30	2	○			○		○	○	
	○			ブライダル知識Ⅱ	新規接客・アンケート記入・質問・顧客心理・館内案内・敬語等、設定した客層への対応方法を学ぶ。	2通	45	3	○			○		○	○	
	○			未来デザインプログラム	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1通	30	2	○			○		○		
	○			ブライダルビジネスマナー	敬語の使い方、履歴書の書き方やビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ。	1通	30	2	○			○		○	○	
			○	就職対策Ⅰ	就職活動に向けて自己分析や模擬面接などを通じて自己認識力を高める。	1通	30	2	○			○		○		
			○	就職対策Ⅱ	就職活動に向けて自己分析や模擬面接などを通じて自己認識力を高める。	2通	30	2	○			○		○		
			○	パーソナルカラー	ファッションコーディネートで即戦力となれるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付ける。	1通	30	2	○			○		○	○	
			○	フラワーアレンジ	ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を学ぶ。	1前	45	3	○			○		○		
			○	ペン字	日常的な文字を綺麗に書く事により、履歴書をはじめ、書類を専門的な技術、知識をもって書けるようにする。	1前	15	1	○			○		○	○	
			○	ブライダルプロジェクトⅠ	日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、企画立案施行の全てが出来るようにする。	1通	60	4	○			○		○		
			○	ブライダルプロジェクトⅡ	日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、企画立案施行の全てが出来るようにする。	2通	60	4	○			○		○		
			○	ドレスデザイン	『ABC協会認定ドレススタイリスト』検定の取得を目標にドレススタイリストに必要な技術・知識を学ぶ。	1通	60	4	○			○		○	○	

13			○	アテンダー実践	結婚式当日、新婦様の一番近くでお世話を するアテンダの知識を学ぶ授業。ドレスの トレーンの持ち方・ブーケの持ち方など新 婦様を常に美しく見せる見せ方を学ぶ。	1 前	30	2	○		○		○	○		
14			○	花嫁着付Ⅰ-A	一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の 着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学 ぶ。	1 前	45	2		○		○			○	○
15			○	花嫁着付Ⅰ-B	一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の 着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学 ぶ。	1 後	45	2		○		○			○	○
16			○	花嫁着付Ⅱ-A	一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の 着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学 ぶ。花嫁着付けⅠより、高度な技術を学 ぶ。	2 前	45	2		○		○			○	○
17			○	花嫁着付Ⅱ-B	一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の 着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学 ぶ。花嫁着付けⅠより、高度な技術を学 ぶ。	2 後	45	2		○		○			○	○
18			○	ベーシックメ イクA	ベーシックメイク検定対策、基本的なメイ クの手順、骨格や肌の構造等を学びフルメ イクの基礎メイクテクニックを学ぶ。	1 前	45	2		○		○			○	○
19			○	ベーシックメ イクB	ベーシックメイク検定対策、基本的なメイ クの手順、骨格や肌の構造等を学びフルメ イクの基礎メイクテクニックを学ぶ。	1 後	45	2		○		○			○	○
20			○	ブライダルヘ アアレンジⅠ	一束やピンニング、ホットカーラーや編み込 み等ヘアアレンジの基礎からベーシックな アップスタイルを学ぶ。	1 前	30	1		○		○			○	○
21			○	ブライダルネ イルⅠ	JNECネイリスト技能検定3・2級級取得を 目指し、基礎的なネイルケア～カラーリン グ・アートや簡単な付け爪(チップラップ) まで学ぶ。	1 通	90	3		○		○			○	○
22			○	ブライダルネ イルⅡ	1年次に学んだネイルアートⅠの技術向上 とジェル検定初級取得を目指す。またブラ イダルネイルで使えるアートなどの技術を 学び作品制作を行う。	2 通	75	2		○		○			○	○
23			○	ブライダルエ ステ	ブライダルエステの基礎知識・技術を習得 する。 ・フェイシャル、ボディ技術理論 ・フェイシャルケア・ボディケア	2 通	60	2			○	○			○	
24			○	ブライダルメ イクⅠ	アドヴァンス検定、スキンケア、トラブル メイク、チェンジ。(タイムアップ含 む。)	1 後	45	2		○		○			○	○
25			○	ブライダルヘ アアレンジⅡ	和装や洋装、年代に合わせたヘアメイクを デザインし相モデルで行うなど幅広いア レンジを学ぶ。	1 後	45	2		○		○			○	○
26			○	ブライダルヘ アアレンジⅢ	ブライダルのクイックチェンジやお色直し の際に行う様々なヘアチェンジに対応出来 る様に相モデルでより実践的に学ぶ。	2 通	90	3		○		○			○	○
27			○	ブライダルメ イク&フォト	アドバンス検定対策と撮影用メイクを学 び、カメラのファインダーを通した、メイ クの仕上がり学ぶ。	2 通	90	3		○		○			○	○

28			○	洋装・和装メイク	洋装・和装の花嫁メイクの基礎から応用、列席者のメイクやボディージュエリーなどの流行まで取り入れた結婚式の幅広いメイクを学ぶ。	2通	90	3		○		○		○	○		
29			○	ドレススタイリング	ドレスのデザインや装飾などを理解し、的確なフィッティングやドレスに合ったヘアメイクなどのスタイリングを考える。	2通	60	2			○	○		○	○		
30			○	ドレスフィッティング	ドレスの着せ方・ドレスショップでの新規接客の方法を学び、即戦力を身につける。	1後	30	1			○	○		○	○		
31			○	ドレスコーディネート	ドレススタイリストに必要な知識を活用して、着る人の体型やTPOに合わせたコーディネートを考える。	2通	60	2			○	○		○	○		
32			○	ドレスソーイング&メンテナンスⅠ	ドレスのお直し・タキシードの裾上げなどドレススタイリストの裏側の仕事を学ぶ。	1後	30	1			○	○		○	○		
33			○	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ	ドレスのお直し・タキシードの裾上げなどドレススタイリストの裏側の仕事を学ぶ。	2通	60	2			○	○		○	○		
34			○	ブライダルヘアメイクⅠ	基本的な道具の使い方を学び、ヘアアレンジの基礎～花嫁洋装スタイルのクラシカルスタイルを学ぶ。	1後	30	1		○		○		○	○		
35			○	ブライダルヘアメイクⅡ	和装や洋装、年代に合わせたヘアメイクなど、幅広いアレンジを学ぶ。	2通	60	2		○		○		○	○		
36			○	ブライダルメイクⅡ	検定対策、お色直し、メンズトータルコーディネート、列席者ヘアメイクなど、式に関わるトータルヘアメイクを学ぶ。	2通	90	3		○		○		○	○		
37			○	ビジネスメール演習-A	社会人として必要なメール文章に関するマナーを学び、シーンに応じた正しい言葉遣いを身につける。	2前	30	2	○			○		○	○		
38			○	ビジネスメール演習-B	社会人として必要なメール文章に関するマナーを学び、シーンに応じた正しい言葉遣いを身につける。	2後	30	1		○		○		○	○		
39			○	ドレス&メイクインターンⅠ	現場での実習勤務を通して、1日の流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学ぶ。	1後	60	2			○			○			
40			○	ドレス&メイクインターンⅡ	現場での実習勤務を通して、1日の流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学ぶ。	2前	60	2			○			○			
41			○	ドレス&メイクインターンⅢ	現場での実習勤務を通して、1日の流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学ぶ。	2後	60	2			○			○			
42			○	ブライダル実務Ⅰ	現場での実習勤務を通して、お客様を迎えるまでの準備や施術中の理解を深め、接客の基本姿勢・実践力・応用力を学ぶ。	1後	60	2		○		○		○			

43		○	ブライダル実務Ⅱ	現場での実習勤務を通して、お客様を迎えるまでの準備や施術中の理解を深め、接客の基本姿勢・実践力・応用力を学ぶ。	2前	60	2		○	○	○		
44		○	ブライダル実務Ⅲ	現場での実習勤務を通して、お客様を迎えるまでの準備や施術中の理解を深め、接客の基本姿勢・実践力・応用力を学ぶ。	2後	60	2		○	○	○		
合計					44科目			2220単位時間(95単位)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<p>【卒業要件】</p> <p>●本校に修業年限以上在学し所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。また、「花嫁着付Ⅰ-A」「花嫁着付Ⅰ-B」「花嫁着付Ⅱ-A」「花嫁着付Ⅱ-B」は必修科目とする。</p> <p>【履修方法】</p> <p>●講義及び演習科目については15時間から30時間の授業をもって1単位とする。実習及び実技科目については30時間から45時間の授業をもって1単位とする。各科目授業内テスト（実技科目の評価方法は実技・筆記テストを原則実施）の100点満点での素点からの5点法による評定とし、「2」以上でその科目の履修と見なす。</p>		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。